

リフォーム前

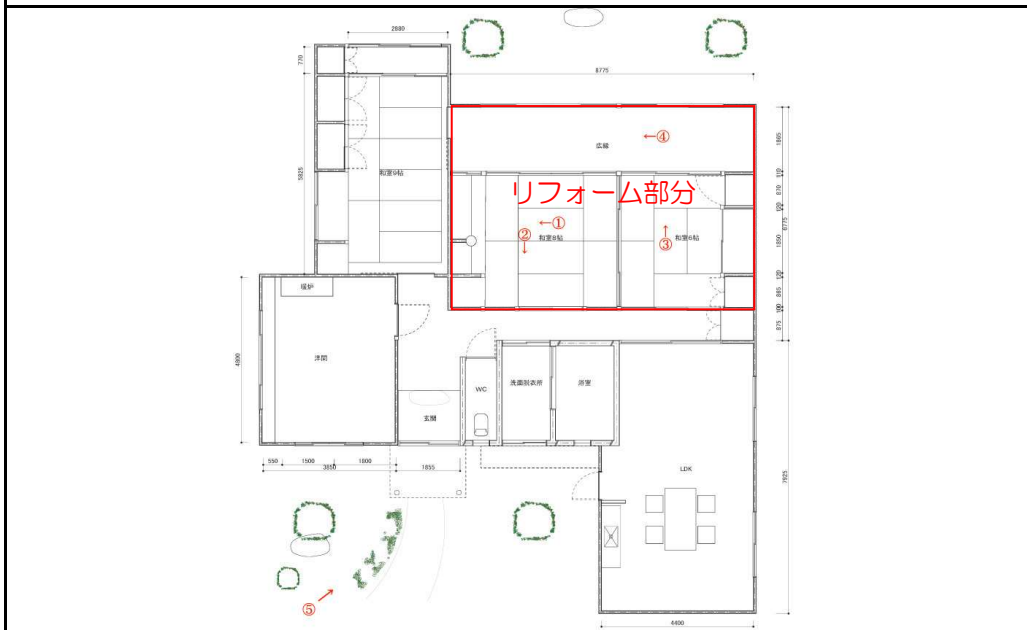


リフォーム後



- ①床の間や欄間は既存のまま。
- ②天井にダクトレールを付けて、ペンダントとスポットライトを設けた。
- ③県産材を使って、カウンターを造作。
- ④外観に一切手を付けず、玄関に暖簾をかけただけ。

リフォーム前平面図



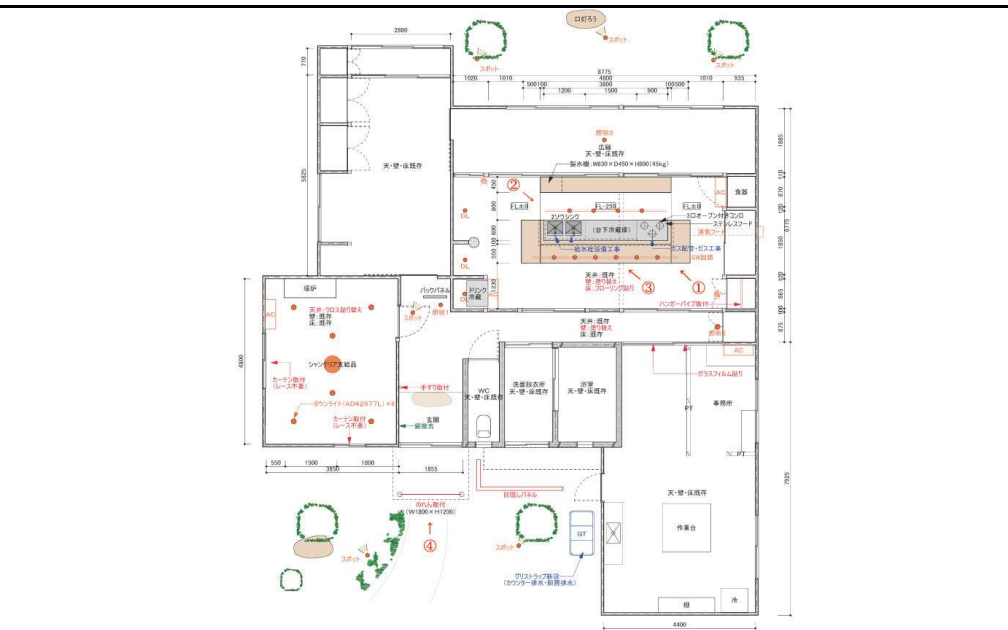
設計施工のポイント（増改築等の工夫）

**施主様からの要望**  
 「郊外で落ち着いた雰囲気でお客様にゆっくりとくつろいだ雰囲気の中で料理（フレンチ）を召し上がっていただけるようなレストランを作りたい。」との希望をもっておられました。築47年経ってここ数年空き家になっていた大きな古民家を見つけ、所有者にここを住まい兼お店として借りる了承を得て、この計画が始まりました。

**設計から施工の流れ**  
 「南側の庭に面した最も日当たりの良い和室二間（8畳+6畳）と広縁部分をレストランに」床をタタミからフローリングに、壁は砂壁の上から白の漆喰壁を塗り、床の間や欄間などは原型のままで残すことにしました。省エネ的には床下等に断熱材がなかったのでフローリング下にスタイロフォームを施工したことで冬の底冷えがなくなりました。県産材の杉を使ってコの字型にカウンターを作って目の前で料理ができるのを見ながら食べられる配置としました。シェフとの会話もおのずとはずみです。

リフォーム前の建物がしっかりとした材料で床の間や和室を造作してあり、借家という制約上、最低限のリフォームにとどめたことかえて独特の雰囲気をもったレストランとなりました。今、全国の自治体が空き家問題で困っています。このリフォームのように古い空き家も簡単に手を加えただけで立派によみがえることができることを証明した好例と言えるのではないのでしょうか。古民家リフォームでは**変えるところ、変えないところをはっきりと見定める**事が大切かと思えます。

リフォーム後平面図



応募者	設計者	施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	リフォーム内容
(株)小森昌章建築設計事務所	(株)小森昌章建築設計事務所	(株)インテルド	築47年	木造軸組(平屋)	一戸建て	2017年11月	45日間	600万円	和室二間続きと広縁にカウンター形式のフレンチレストランを設けた。